

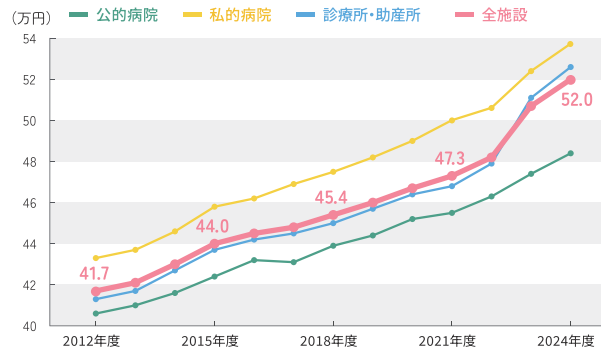
「出産ナビ」の紹介

一人ひとりに合った施設選びができるように

＼出産ナビの特徴／

妊産婦のみなさんがあらかじめ費用やサービスの情報を踏まえて適切に出産する施設を選択できるよう、全国の分娩を取り扱う施設ごとのサービス内容や出産費用の状況などを厚生労働省のウェブサイトで公表することとなりました。

●正常分娩の出産費用（室料差額等※1を除く）



出典：厚生労働省「正常分娩の平均出産費用の年次推移」※2

※1 室料差額、産科医療補償制度掛金、その他の費目を除く費用の合計額

※2 2025年12月 第207回社会保障審議会医療保険部会 資料1より

施設の規模だけでなく、私立か公立（国立／県立など）かによっても出産費用には差があります。

＼出産費用はいくらかかる？／

病気や怪我での受診時とは異なり※、出産育児一時金（原則50万円）が一律で給付されます。現在、多くの施設では「直接支払制度」を導入しているため、退院時の窓口での支払い額を出産育児一時金が差し引かれた額に抑えることができます。

加えて、自治体によっては、独自の助成制度を設けているところもあります。お住まいの地域を確認してみましょう。

また、妊婦健診や産後ケア事業については、自治体からの助成が受けられますが、自己負担費用や実施内容は施設により異なります。

※帝王切開術などの保険診療分については、病気や怪我と同じく、3割などの負担となります。

リアルな出産費用の目安がわかる！ 出産ナビは2024年5月に開設され、現在の掲載施設数は2,000件以上！

全国の主な出産施設※をほぼ100%カバーしているので、どこに住んでも安心して利用できます。

施設概要、立ち会い出産や無痛分娩などのケア・サービスはもちろんのこと、実際にその施設で行われた出産の請求金額に基づくリアルな出産費用の情報も掲載されているのが特徴です。

※出産育児一時金の直接支払制度を利用して、年間の分娩取扱件数が21件以上の施設

「出産ナビ」の利用法

かんたん3ステップ！

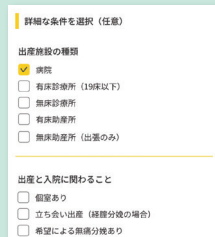
＼出産ナビの使い方／

1 まずはサイトにアクセス！



知りたい制度などの情報も掲載！

2 地域、こだわり条件などを入力！



便利なお気に入り登録も！

3 結果を確認



※画面はイメージです。

出産ナビでわかる！

＼施設選びのポイント／

施設の概要

- 施設種別（周産期母子医療センター※1であるか など）
- ベッド数（産科／NICU〈新生児集中治療室〉）
- 産科専用の病棟か
- 年間の分娩件数（経産分娩※2・帝王切開）
- 医師数（産科医・小児科医）／助産師数
- 入院中の検査や出産後の健診ができるか

施設の規模や地域における役割、高度な医療に対応できるか、赤ちゃんのための専門的な治療設備があるかなど、施設の特徴をチェック！

サービス内容

- 助産師外来※3や院内助産※4があるか
- 入院中に母乳指導などの授乳・育児のサポートをしてくれるか
- 立ち会い出産ができるか
- どのような無痛分娩ができるか
- 個室があるか
- 母子同室かどうか

助産師によるサポート、家族と過ごせるか、無痛分娩が24時間対応かなど、施設が大事にしている項目が見えてきます。

費用など

- 分娩にかかる費用の総額※5
- 室料差額等を除いた出産費用
- 入院日数の目安

自分が希望するサービスと費用感のバランスを確認しておきましょう。

- ※1 周産期母子医療センター：リスクの高い妊産婦、胎児・新生児に高度な医療を提供することが可能で、地域の医療施設から搬送を受ける立場にある施設
- ※2 経産分娩：赤ちゃんが産道を通して生まれてくる方法
- ※3 助産師外来：助産師が医師と連携しておこなう、助産師による妊婦健診や保健指導のこと
- ※4 院内助産：助産師が医師と連携しておこなう、妊娠中から分娩中、産後のケアのこと
- ※5 出産育児一時金（原則50万円）を差し引く前の金額



全国の出産を取り扱う施設の出産費用とサービスがみえる

出産ナビ



NEW 1

妊婦健診を実施する施設も検索可能

NEW 2

産後ケア事業実施施設も検索可能



施設を探す

「出産ナビ」は、全国の出産を取り扱う施設の出産費用とサービスがみえるサイトです。



妊産婦が安心・安全に、そして自身の希望や意向に沿った形で出産できるように、施設側はスタッフや設備のほか、工夫を重ねた多様なケア・サービスを用意しています。ただ、各施設の公式サイトには情報量が多かったり少なかったり、サイト構成もまちまちで、欲しい情報がどこに掲載されているのか分かりにくいこともありました。こうした施設選びにかかる負担を少しでも減らすために作られたのが「出産ナビ」です。ここでは、各施設におけるスタッフや設備のほか、ケア・サービス等を同じ様式で一覧化しています。

厚生労働省が運営しているから安心！

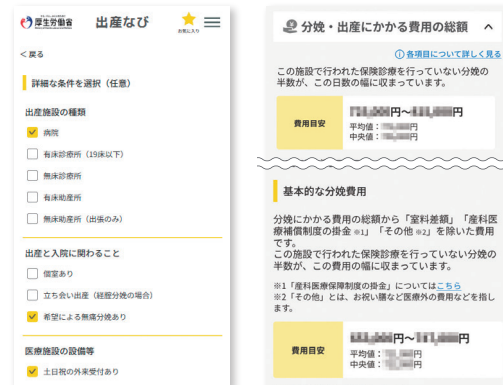
病院、診療所、助産所など全国ほぼ全ての出産施設を紹介しています。厚生労働省が全国の施設から情報収集をおこない、さらに随時更新をしながら運営しています。

さまざまな条件で探しやすい！

現在地や最寄り駅に加え、無痛分娩や立ち会い出産、土日の外来といったこだわり条件からも検索可能。各施設ページには、さまざまな詳細情報が詰まっています。

実際の請求額がわかる！

費用目安は、各施設が実際に請求した直近のデータをもとに厚生労働省で整理したうえで掲載。請求額は一人ひとり異なりますが、施設ごとの請求金額の傾向がわかるので、比較検討しやすいのが特徴です。



制度を知る

「制度を知る」コーナーでは、妊娠・出産・産後を通して利用できる制度・サービスをわかりやすく紹介しています。

母子健康手帳、妊婦健診、支援給付、産後休業、育児休業制度など、生活を支える情報をまとめて確認できます。妊娠週数や産後の時期に合わせて必要な制度を探せるので、安心して出産・子育ての準備を進めることができます。



お金の支援

- ・妊婦のための支援給付
- ・出産育児一時金
- ・出産手当金
- ・児童手当
- ・こども医療費助成
- ・育児休業給付金
- ・高額療養費制度
- ...など

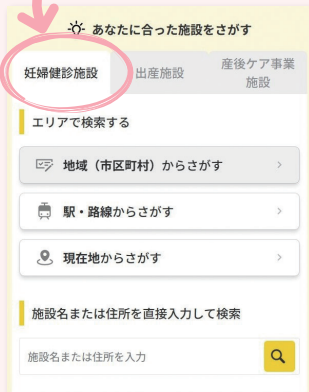
手続き・健康サポート

- ・母子健康手帳
- ・妊婦健康診査
- ・出生届
- ・新生児聴覚検査
- ・産婦健康診査費用助成
- ・妊婦等包括相談支援事業
- ・こにちは赤ちゃん事業
- ...など

休業・働き方支援

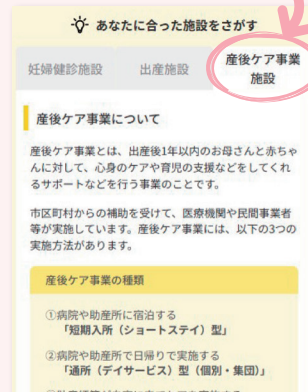
- ・産前・産後休業（産休）
- ・育児休業制度
- ・産後パパ育休制度
- ・短時間勤務制度
- ・残業免除制度
- ・産休・育休中の社会保険料免除
- ...など

妊婦健診の施設探しにも対応！



分娩取扱施設だけでなく、妊婦健診を実施する施設の情報掲載も開始しました。里帰り出産を希望する方の妊婦健診の受入れの有無や、標準的な妊婦健診の内容・費用のほか、自治体の助成内容等を確認することができます。

産後ケア事業実施施設が探せる



出産後1年以内のお母さんと赤ちゃんに対して、心身のケアや育児手技についての指導及び具体的な相談などのサポートを行う産後ケア事業。そんな産後ケア事業を行う施設の情報が掲載されています。